

核燃と原発に反対する 女たちのデモ

303 回目のデモのお知らせ

私たちは1986年4月26日のチェルノブイリ原発事故をきっかけに、「核燃と原発」に反対してデモを続けています。

青森県には六ヶ所再処理工場、東通原発、むつ市中間貯蔵施設、大間原発、三沢基地など日本の原子力施設、軍事基地が集中しています。この先地震や津波などでいつ大事故がおきるかわかりません。

青森には豊かな自然があります。りんごや米などの農産物、マグロやホタテなどの海産物もあります。私たちは放射能で汚染された故郷を、子供たちや孫に残したくありません。

このデモはあくまでも個人の自主的なものです。歩く時は「かくねんまいね！」とパッチワークをした横断幕やプラカード、ハンドマイクを持ちます。人数は少ないのですが「核燃反対・原発反対」の意志表示をし続けることは大切なことだと思います。

チェルノブイリ原発事故も福島原発事故も決して他人事ではないと思っています。

(デモ) 記

4月24日(土)

・偶数月の第4土曜日

- ・弘前大学正門前 午後3時30分出発
- ・デモのコース 弘前大学正門前→土手町→桜大通り
(約2km 所要時間約50分)

(核燃と原発に反対する女たちのデモ・放射能から子どもを守る母親の会事務局 会坪)

